

# 透析導入期クリニカルパス

No.1

ID : \_\_\_\_\_

様

主治医: \_\_\_\_\_ 透析室担当看護師: \_\_\_\_\_

導入回数	導入前	導入当日 (1回目)
観察	看護師が体温・血圧・症状の変化を観察します。 バスキュラーアクセスの状態を観察します。	
食事	今まで通り低タンパク食です。	透析食へ変更します。昼食は透析後、病棟に戻ってからです。食事のカロリー・塩分・タンパク質量は医師の指示で決ります。
	食事の摂取量や一日に飲んだ水分量を確認します。 飲水量は医師の指示に従いましょう。	
清潔	入浴できます。	透析前に石鹸を泡立てて、針を刺すところを洗いましょう。 透析後は身体が疲れていますので、無理せず身体を拭く程度にしましょう。
排泄	毎回尿量を測ります。 便通は看護師が検温の時、確認します。透析中はベッド上にて排泄となります。	
診察処置	病棟または外来で診察します。	透析日は腎センターで診察します。
検査	血液検査 レントゲン検査	導入以降は、医師の指示に従います。
薬物療法	医師の指示通り内服してください。	内服薬を検討します。 中止や注射薬の変更、透析中に使うものもあります。
説明	医師が透析について説明をします。 透析室看護師が訪問し、スケジュールや必要物品などについて説明します。	今後の予定を確認します。不安に思うこと・心配に思うことは遠慮なくスタッフにお尋ねください。 透析導入期マニュアルに沿って説明していきます。 医療相談員より身体障害者手帳と医療費について説明があります。 ご家族も腎センターの見学ができますので申し出てください。
目標	1. 透析を行う心構えができる。	2. 透析中の苦痛が最小限に抑えられ、安全に治療が受けられる。

\*症状、経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。 2006年12月作成(2017年5月11日改訂) パス委員会承認 聖隷浜松病院 腎センター看護課

# 透析導入期クリニカルパス

No.2

ID: \_\_\_\_\_ 様

導入回数	2回目～6回目	退院まで
観察	看護師が体温・血圧・症状の変化を観察します。 バスキュラーアクセスの状態を観察します。	
食事	透析日は透析後、病棟に戻ってから昼食(透析食)です。 食事の摂取量や一日に飲んだ水分量を確認します。	
清潔	透析前に石鹸を泡立てて、針を刺すところを洗いましょう。 医師の指示にて入浴できますが、透析日は控えましょう。	
排泄	毎回尿量を測ります。 便秘についても看護師が検温の時、確認します。透析中はベッド上にて排泄となります。	
診察処置	週3回血液透析を行います。 透析日は腎センターで、透析の無い日は病棟で診察します。	 
検査	適宜、血液検査・レントゲン検査をします。透析日にレントゲンがある場合は 透析前に、採血は腎センターで行います。	 
薬物療法	内服薬、注射薬があります(状態により内容が変わります)。	 
説明	透析看護師がパンフレットに沿って、生活の注意事項等について説明します。 自己管理手帳をお渡しします。 体重や血圧、体調の変化などを自己管理手帳に記録していきましょう。 ☆7回目の透析で退院を目標とします。 医師が、病状説明と退院後の生活について説明をします。 今後の維持透析施設について、医師や透析室看護師・医療相談員などが 情報提供します。 紹介状を持参して見学に行きましょう。	   
指導	管理栄養士が、透析食の指導を行います。 薬剤師が、薬についての指導を行います。	 
目標	3. 説明・指導を受け自己管理法について理解できる。	4. 退院の受け入れでき、安心して退院が迎えられる。

\*症状、経過によってはスケジュール通りにならない場合があります。 2006年12月作成(2017年5月11日改訂) パス委員会承認 聖隷浜松病院 腎センター